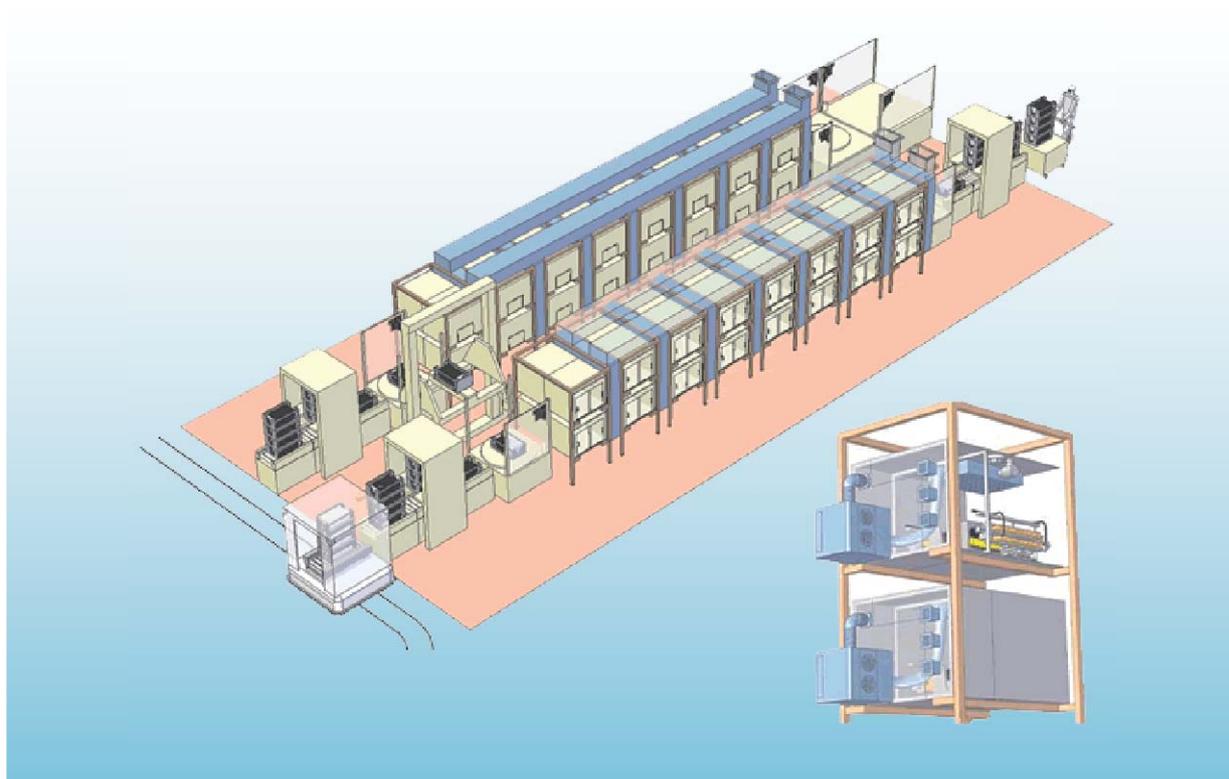


2 次電池充放電検査用温度センサ

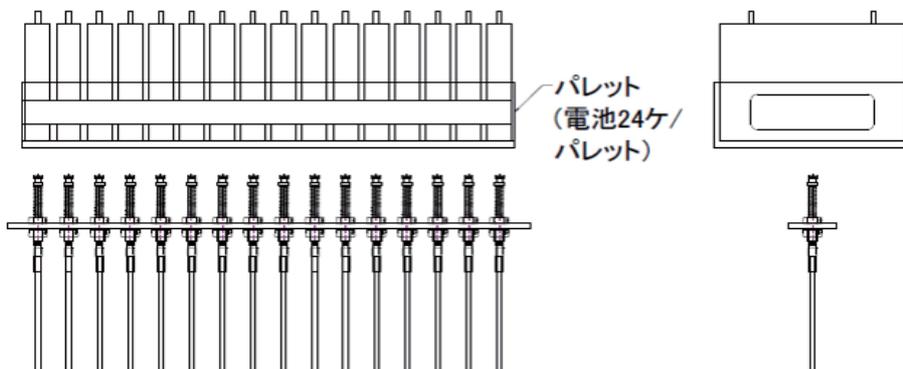
充放電試験中の発熱を正確に計測
正確性、安定性、耐久性を追求したセンサ
チェック用均熱ブロックで再現性を定期的に確認可能

充放電検査システム概略図



恒温槽を上下にスタックし自動搬送機が電池トレーを出し入れする。
恒温槽は所定の温度に設定された環境下で電池温度を計測し、電流の温度依存データとする。

開回路電圧 (OCV)、内部インピーダンス測定 (ACIR)

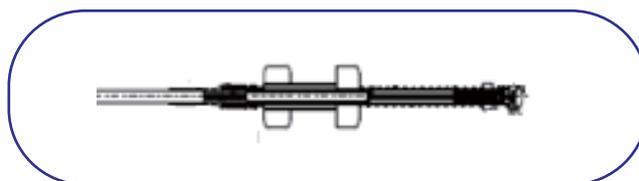


2次電池充放電中に
チェック用均熱ブロックで
温度センサ再現性を常に確認。

測温抵抗体・熱電対用無線ロガー MD8000 シリーズも準備



4線式測温抵抗体仕様。
被測定物の形状に対応するため、
集熱板を曲面加工。



充放電検査用熱電対 NCT

- ① 高速応答タイプ 0.5mm シースチェック熱電対
- ② 実温度重視タイプ 容量確定にも使用できるように接触面積を増やした熱電対
- ③ ラミネート型対応 シートカップルを用いて平面型に製作された高応答熱電対



種類：JIS K (クラス 1)
 温度レンジ：0 ~ 100℃
 線構成：7/0、18 導体外形 0.54 AWG-25 相当
 被覆外径φ2.8mm (耐熱温度~ 105℃)
 感熱部：熱伝導シリコン樹脂 (耐熱温度~ 150℃)